

名城公園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	岩間造園株式会社		
主な業務内容	名城公園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市北区名城一丁目2-25		
評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和6年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
管理体制 及び協働	1 管理体制	職員配置	○	休館日にも対応職員を配置して問い合わせ・公園利用者対応ができるようにしている。 3つのボランティア団体と協働して花の手入れや園内の維持管理作業を細やかに実施している。隣接大学の学生とも協働し、学生が主体的に活動する場となっている。 新たに下水道科学館と連携し、スタンプラリー・クイズラリーを実施した。 その他、ベンチの寄付や、スポンサー花壇の受入れなどに伴う調整を協力的な姿勢で取り組んだ。
		緊急時の体制		
		人材育成等		
	2 協働	市民等との協働		
維持・管理 運営等	1 維持管理	園内清掃	○	多数の鳥の糞による悪臭・汚れの清掃、台風後の特別園内清掃、側溝・排水樹の清掃等職員が適宜実施している。 多くの施設が老朽化している中、優先順位をつけて修繕を実施。フェンス修繕・タイル隆起部分修繕やせせらぎ排水管の入れ替え等緊急性の高いものは速やかに実施した。 高木剪定・低木刈込は安全面を重視して優先して実施した。会館周辺を始めとする多くの花壇を丁寧に管理し、四季折々の花が楽しめる。低木は常に低く刈込し、見通しもよく優れた美観を保っている。
		建物・設備の管理		
		保守・点検・修繕		
		植物管理		
		管理水準の維持		
		関係書類の調製・保管		
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	◎	市の整備工事や、県体育館移設に伴う撤去工事の影響で使えなくなる施設や区域について、関係各所からの情報を把握し、変更案内や予約受付の停止などについて事前に利用者に周知し混乱のないよう努めた。また、変更等が進む中、利用者目線で必要な措置・対策（ランニングコースの距離表示、擁壁の転落防止柵の設置等）を市に報告し、協力して対応した。 花見の時期は宴会の自粛を求める必要があり、立ち入り禁止区域の設置や花見のマナー看板の設置、警備員による巡回を行った。 傘、杖、車いすの無料貸し出しを実施して喜ばれている。
		利用者ニーズの把握と反映		
		利用者サービス向上策		
		接客・接遇向上の取組み		
		苦情・要望に対する適切な処理		
		個人情報の適切な管理		
	3 この施設特有の管理	緑の普及・啓発事業への取組み		みどりのトンネルやバラのアーチ、公園入口から三角プランターなどに連続して花をたくさん咲かせ、歩きたくなる公園の演出をした。車いす・高齢の方でも手入れがしやすい高くなっている花壇（レイズドベッド）を新たに整備し、ボランティアに参加してもらいやすい工夫をした。 花菖蒲園の整備をさらに進め、おふけ池の景観向上を図った。 コロナの感染対策を行いながら、内容も変更するなど調整して各種イベント・講習会を実施した。 雑誌やウェブサイトなど多数の広報媒体に情報提供し、ホームページのリニューアルも実施。インスタグラム・フェイスブックは毎日最低1投稿を実施している。
		めざす公園像への取組み		
	4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策	○	
		イベント等の実施		
		講習会等の実施		
		利用者への広報・情報提供の実施		
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	新規イベント・イベント内容の充実を様々検討する上で市と適切に調整し、都会の森で遊ぶのGo Green Market、わくわく花火DAY、サバイバル・キャンプなど新たなイベントを実施し、名城公園の魅力を倍加させた。 喫茶店でテイクアウト商品（かき氷、焼き芋）を新たに提供することにより利用者の選択の幅を広げた。 令和4年度からの自主事業での新設駐車場の管理運営に向け、市と綿密な調整を行った。
		集客対策への効果		
		自主事業の収支及び還元		
収支	1 収支	経費節減策	○	
		年間収支		
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析		

【総合評価】

様々な感染症対策を行い、都心の公園として、利用者のニーズに合わせた展示会、講習会、Go Green Marketなど新たなイベントを開催し、利用者サービスの向上に努めていることは評価できる。
植物管理においては、美しい景観スポットを生かした維持管理や、緑のトンネルなどの一息つける場所づくりなど、来園者の期待に応えた公園づくりに取り組んでいる。引き続き、ビュースポットの再生や名所づくりに尽力されたい。
植物管理・園内管理に年間延べ500人以上のボランティアが活動しており、今後さらに多くのボランティアの参加により花と緑が増えることを期待する。
見通しの確保を目的とした高木の下枝剪定と中低木の刈込も継続されたい。

施設の現状

名城公園

施設の現状	施設概要							
	名古屋城天守閣の眼下に広がる名城公園は、終戦後いち早く名古屋市の中心部における総合公園として計画決定され、その整備が行われてきました。「せせらぎ」の流れる芝生広場を中心に、おふけ池、野外ステージ、花木園、子どもの広場、花の道(ランニングコース)、有料公園施設である野球場があり、多目的に利用されています。 名城公園内にある名城公園フラワープラザは、「第6回全国都市緑化なごやフェア」(愛称「緑・花・祭なごや'88」)の記念施設として、また、都市の生活の中にとりいれる花の知識・技術等をひろめる普及啓発施設として、昭和63年9月30日の同フェア開催と同時に開館しました。敷地内のモデルガーデンや室内花壇には、草花・ハーブ等が植栽されています。館内は、花を中心にした展示・講習会が開催され、花の普及啓発施設、喫茶コーナーなどの便益施設として利用されています。							
	市の収支状況(千円) (3年度決算見込み額)							
	支出			収入				利用料金
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
	118,171	-	118,171	418	-	117,753	118,171	-
	特記事項							
	指定管理区域を、平成30年度から名城公園(北園)に拡大							
	取組状況							
	指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
管理運営指標の状況	講習会受講者数		人	1,026	1,003	527	608	
	緑化相談者数		人	417	490	138	38	
	入館者数		人	226,009	263,129	174,828	156,160	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載